

福岡市 NPO 活動支援基金

(あすみん夢ファンド)

令和2年度 活動報告書



福岡市市民局コミュニティ推進部

市民公益活動推進課

福岡市 NPO 活動支援基金(愛称：あすみん夢ファンド)へ
ご寄付をいただき、ありがとうございました。

あすみん夢ファンドは NPO の公益的な活動に必要な資金
を助成するとともに、寄付を通じた社会貢献意欲を高める
ことにより、市民の自主的かつ自発的な公益活動の促進を
図ることを目的として設置しています。

令和2年度は総額 **4,654,427円**
のご寄付をいただきました。

皆様からいただいたご寄付をもとに、令和2年度は
4の NPO 法人の活動を支援することができました。

令和2年度から、新型コロナウイルスの感染拡大により、
様々な困難に直面する人・団体を支援する NPO 法人の事
業に助成しています。

令和2年度は総額 **16,563,964円**
のご寄付をいただきました。

皆様からいただいたご寄付をもとに、令和2年度は
23 の NPO 法人の活動を支援することができました。

本報告書は、これらの活動についてご寄付をいただいた
方々をはじめ多くの皆様へお知らせするものです。

今後とも NPO 法人へのご理解・ご支援をよろしくお願
い
します。

目次

1	令和2年度福岡市 NPO 活動推進補助金	5
	Wing-Wing	6
	FFA フォロワーシップ協会	7
	九州大学こころとそだちの相談室	8
	山王学舎	9
2	新型コロナウイルス対策支援第1回	10
	アカツキ	11
	アコア	12
	いるか	13
	ウィッグリング・ジャパン	14
	九州大学こころとそだちの相談室	15
	グリーンシティ福岡	16
	グローバルライフサポートセンター	17
	山王学舎	18
	チャイルドライン「もしもしキモチ」	19
	トゥマンハティふくおか	20
	ドネルモ	21
	箱崎自由学舎 ESPERANZA	22
	福岡ジェンダー研究所	23
	フードバンク福岡	24
	YNF	25
3	新型コロナウイルス対策支援第2回	26
	アコア	27
	さわら子どもひろば	28
	ドネルモ	29
	にこスマ九州	30
	福岡食物アレルギーネットワーク	31
	フードバンク福岡	32
	ホームレス支援福岡おにぎりの会	33
4	新型コロナウイルス対策支援第3回	34
	YNF	35

令和2年度福岡市 NPO 活動推進補助金

1 対象団体

定款に定める事務所の所在地が福岡市内にある特定非営利活動法人(NPO 法人)

2 対象事業

地域社会の発展に資すると認められる活動であって、NPO 法に定める 19 の分野のいずれかに該当する事業（宗教活動、政治活動または選挙活動を除く）

3 補助金の額

補助対象経費の 80%以内、1 団体あたり 50 万円

4 交付団体数

4 団体

特定非営利活動法人Wing-Wing

子どもと保護者の心を健やかに育む「子育て応援サロン会」事業

団体紹介

子どもと親、子どもに関わる大人たちの健やかな成長を目指し、限られた時間の中での子育て支援や親子で共に過ごす時間を提供する他、男女脳の違いに注目した育脳を取り入れて、子どもたちに必要な心と体のバランス作り・コミュニケーション力の向上を図るプログラムの開発、実施を行っています。



【子育て講座の様子】

令和2年度補助額

320,000円

補助事業概要

子育て中に抱える悩みや不安がある保護者を対象に、子育てに関する各種講座をオンラインでも行いました。参加した保護者からは、「気が楽になった」「子育て時のイライラに対する考え方など学べた」など子育てに対して前向きな声をいただき、子どもに対して優しい気持ちで接しようと改めて心掛けるきっかけをつくることができました。オンライン開催について、小さい子どもがいる保護者から泣いていても迷惑にならず受講できるなど、コロナ下だからではなくても、その重要性を感じました。



【子育て講座の様子】

特定非営利活動法人 FFA フォロワーシップ協会

傾聴ボランティア・スキルアップ講座

団体紹介

フォロワーとリーダーが相互作用しているフォロワーシップ型組織が求められる中、リーダーの指示を持つことなく自主的・自発的に行動するフォロワーの育成を目的として、傾聴やアンガーマネジメント（怒りや苛立ちといった感情を適切に管理、コントロールすること）などの体験型の研修等を行っています。

令和2年度補助額

415,567円

補助事業概要

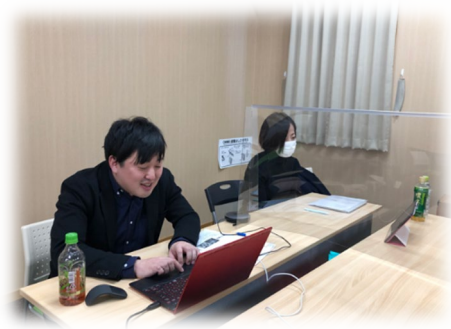
傾聴の勉強をしたい、傾聴ボランティアをやってみたいという方を対象に、「傾聴スキルアップ講座」をオンラインで計7回実施しました。受講者から、人の話を聴くことの重要性や知識（傾聴の技法）を理解することができ、また実技により傾聴の難しさも実感したとの感想をいただき、傾聴をもっと学びたいという意欲向上に繋がりました。

特定非営利活動法人九州大学こころとそだちの相談室

不登校児童生徒と保護者への臨床心理学的支援活動事業

団体紹介

地域住民に対して臨床心理サービスに関する事業等を行い、またそのサービスの担い手である当該地域の臨床心理士等に対して、臨床心理学に関する研修事業等を行うことでその資質の向上を図り、地域に根ざした臨床心理士のあり方とその養成等についての研修事業等を行っています。



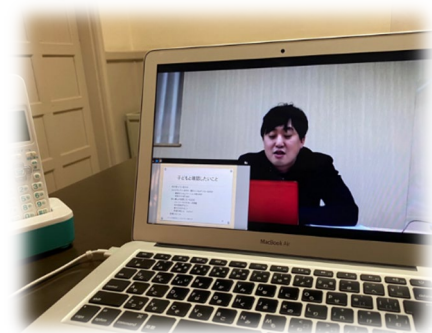
【講演会の様子】

令和2年度補助額

500,000円

補助事業概要

市民を対象に、専門家を招いた講演会をオンラインで実施し、発達障害や不適応に対する理解を深めました。また、不登校児童生徒の親の会「ここあんの会」や、本人を支援するフリースペース「ここりーと」をオンラインでも運営をしました。親の会では、お子さんの再登校に向け、不調の予防や今後の進路、親の見守り方について話題になるようになり、ここりーとに参加した児童生徒のうち、再登校に繋がった児童生徒もいました。



【講演会の様子】

特定非営利活動法人山王学舎

地域の子ども達の学習格差をなくす「美術と学び」支援事業

団体紹介

共働き世帯やひとり親世帯の増加など様々な社会背景がある中、子ども達の現状に目を向け、「居場所」「学び」「体験」の場を地域すべての子ども達と一緒に作り上げるため、美術造形の文化教育を核とした居場所づくりや学習支援等を実施しています。



【放課後学習の様子】

令和2年度補助額

500,000円

補助事業概要

不登校や生きにくさを抱える子どもたちに対して、学校・家庭以外の第3の居場所と放課後の学習機会を提供するため、美術・工作を核とした個性や多様性を伸ばす取り組みを実施し、延べ500人以上の子ども達が参加しました。子どもたちを取り巻く現状を地域から改善しています。



【子ども達の作った工作の作品】

(新型コロナウイルス対策支援 特別募集第1回)

令和2年度福岡市 NPO 活動推進補助金

1 対象団体

定款に定める事務所の所在地が福岡市内にある特定非営利活動法人(NPO 法人)

2 対象事業

新型コロナウイルス感染拡大により、様々な困難に直面する人・団体を支援する事業

3 補助金の額

1 団体あたり上限 50 万円

4 交付団体数

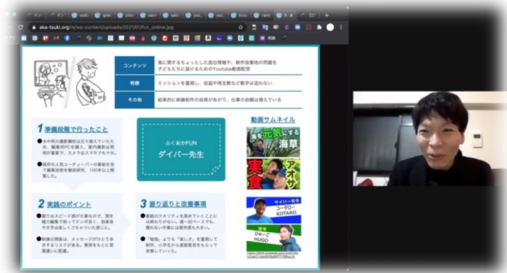
15 団体

NPO 法人アカツキ

コロナ禍における NPO のオンライン対応・知見共有化事業

団体紹介

私たち一人一人の当事者意識から生まれる市民活動が、より良い社会の創造と問題解決において必要不可欠だと考え、そのプロセスに参画する担い手を増やす事業、また、非営利団体及び市民団体の活動を促進する事業を行うことにより、個人と社会との関係性を再構築し、市民が自由と主体性を持って関わっていくことができる社会の実現へ寄与することを目的としています。



【オンラインイベントの様子】

令和2年度補助額

293,000円

補助事業概要

新型コロナウイルス感染症拡大により、特に対人支援系のNPOは、オンラインによる相談やセミナーをする上での工夫の必要性が急激に高まっているため、地域の中のオンライン対応先行事例を取材しWEB上に掲載しました。また、オンラインイベントを開催し、取材団体の事例紹介をしました。イベント参加者からは、「刺激をうけた」「自団体でも取り組みそう」等の前向きな感想がありました。



【WEBに掲載した記事】

NPO 法人アコア

「家族の回復プログラム～夫婦とひとり親サポート」

団体紹介

DV 被害や摂食障害、トラウマ等の様々な生きづらさを抱えた女性達が安心できる居場所を作るとともに、自助ミーティングや心理相談、各種講座など、当事者の自立支援の第1歩に繋げる活動を行っています。



【プログラム参加者から寄せられた写真】

令和2年度補助額

489,654円

補助事業概要

新型コロナウイルス感染症感染拡大による直接的・間接的影響で、密室となる家庭内でのストレスやもめごとは増加傾向にあり、危険な状態になる前に暴力的なコミュニケーションの改善、不安を抱える親のメンタルサポートを実施しました。孤立をしないこと・第三者に話すことの大切さを実感してもらい、こうした取り組みを今後も続けて欲しいというリクエストを多くいただきました。



【プログラムの資料】

NPO 法人いるか

新型コロナウイルス流行禍における小中学生向け LINE 質問サービス 「Ask!! マナビバ」の開始

団体紹介

「本当に困っている人たちのために行動し、その行動によって笑顔をもたらし」ことを使命として、高齢者・子ども支援、被災者のための様々な事業を実施しており、特に「子どもの貧困問題」に対して、学習支援、フードバンク、アウトリーチ、こども食堂ネットワークの運営等の事業を行っています。

令和2年度補助額

500,000円

補助事業概要

新型コロナウイルス感染拡大により、学校の休校やカリキュラムの変更等により学びづらさ感じている小・中学生を対象に、LINE という気軽に利用できるツールを活用し、コロナ禍のどのような状況でも学習が継続できる仕組みをつくることができました。いつでも分からないことを質問することができ、子どもたちの学習を支援することができました。開始から1年で、福岡市内小中学生 2000 人に登録して頂き、佐賀、長崎にも広がっています。累計チャット数は 55,000 件を超えています。



登録者
募集!

外に気軽に出ることができない時期。
勉強をしながらあふれる疑問、ありませんか？
LINEの公式アカウントを使って無料で
みなさんの疑問に答えるサービスを開設しました！
わからないところを写真や文書で送るだけで、
その部分の解説が返ってくる！
うまく活用して、もやもやを解消しよう！

- Q. 対象学年は？
A. 小学生から高校生までのどの学年でもご利用いただけます！
- Q. 対応している科目は？
A. 国語、算数、数学、英語など、どの科目でも質問OKです。
- Q. 時間は決まっているの？
A. 質問はいつでもしていただいても大丈夫です。
質問への回答は平日の18:00～21:00に対応しています。
*対応時間は変更となる可能性があります。

- Q. 必要なものは？
A. 用意するものは、スマートフォン等の
LINEアプリが使用できる媒体だけ！
場所にとらわれず、ご利用いただけます！

LINE友達追加はこのQRコードから、
もしくは「@manabiba」で友達検索！

アスクマナビバの運営団体 NPO法人いるか
〒819-0054 福岡市西区上山門1-2-41
TEL 092-407-8760 FAX 092-407-8667
MAIL manabiba@npo-iruka.jp

【「Ask!! マナビバ」のチラシ】

NPO 法人ウィッグリング・ジャパン

オンライン医療セミナー

団体紹介

がん患者とその家族、そして医療従事者が広く交流できる場所と機会を作ること、がん治療中の患者とのその家族に対して、心のケア、ウィッグの提供、医療情報の発信を行うことを目的に活動しています。



【セミナーの様子】

令和2年度補助額

500,000円

補助事業概要

自粛要請により、セミナーに行けず医療の知識を得る機会が減っている一般市民に対し、がんに関する医療セミナーを会場とオンラインの両方で全10回実施しました。オンライン化により、コロナ禍でも「学びを止めない」機会を提供することができました。



【セミナーの様子】

特定非営利活動法人九州大学こころとそだちの相談室

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた家庭への臨床心理学的支援事業

団体紹介

地域住民に対して臨床心理サービスに関する事業等を行い、またそのサービスの担い手である当該地域の臨床心理士等に対して、臨床心理学に関する研修事業等を行うことでその資質の向上を図り、地域に根ざした臨床心理士のあり方とその養成等についての研修事業等を行っています。



【講演会の様子】

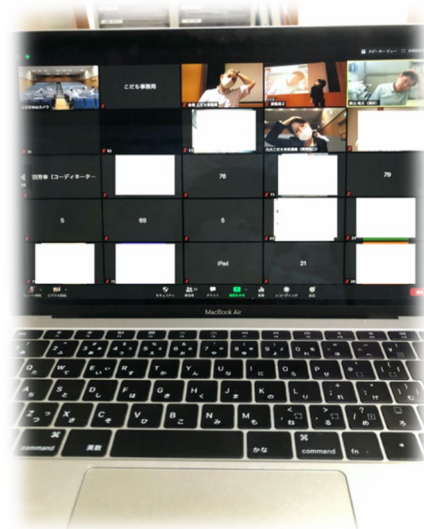
令和2年度補助額

500,000円

補助事業概要

新型コロナウイルス感染症の拡大による休校などにより、居場所や相談相手とのつながりが不足している子どもや保護者に対して、オンラインによるカウンセリングと、新型コロナウイルスとの付き合い方を心理学から学ぶオンライン参加可能な講演会を実施しました。

遠方からの相談者は、オンラインカウンセリングの方が安定した相談継続につながったり、講演会もアンケートの満足度が高く好評でした。



【講演会の様子】

特定非営利活動法人グリーンシティ福岡

オンライン配信型自然観察会事業

団体紹介

都市の中に豊かな緑地を持ち、自然に親しみながら人間らしい暮らしが営める空間を創出するため、伝統的な匠の技術、緑化に関する新技術を地域に広く普及させるための緑化推進事業の実施、緑化、造園に関する研究調査、広く市民と協働して行う環境教育や国際交流のための事業を実施することで、自然環境や地域環境の保全及びそれを担う人材をつくること目的としています。



【自然観察会の様子】

令和2年度補助額

500,000円

補助事業概要

自粛要請や休校により子ども達の屋外遊びの機会が減る中、身近な公園・緑地や道端をフィールドにオンライン配信型の自然観察会を実施しました。参加者からは「映像でもワクワク感が生まれることが発見でした」などの感想をいただき、子どもにも大人にも身近な自然の楽しみ方をお伝えすることができました。

オンライン配信型自然観察会のノウハウは、小冊子にまとめ無償で配布を行なっています。



【自然観察会の様子】

特定非営利活動法人グローバルライフサポートセンター

外国人と外国人に係る企業・団体・個人向け相談・サポート事業

団体紹介

地域住民に対して、国籍、性別に関わりなく個性と能力を発揮することができる社会を目指し、相談会及び教育支援等を中心とした事業を行い、国際協力、まちづくりの推進、男女共同参画社会の形成の促進を図る活動の健全化及び健やかに暮らせる地域づくりの増進に寄与することを目的としています。



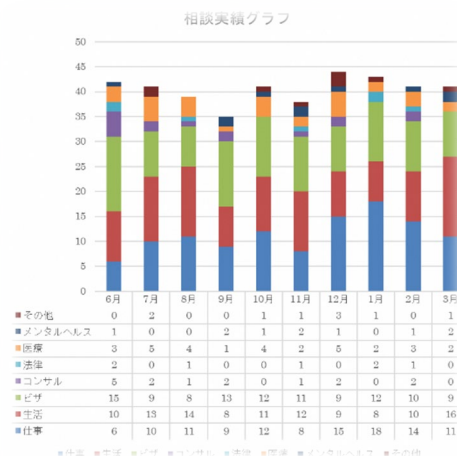
【団体ホームページ】

令和2年度補助額

500,000円

補助事業概要

新型コロナウイルス感染拡大及び収束後の混乱時における外国人と外国人に係る企業・団体・個人に対して、相談・サポート業務を行い、自団体のネットワークを活かした具体的な解決策の提案を行いました。関係機関との臨機応変な連携を図ることにより、橋渡しをすることができました。



【相談実績の推移】

特定非営利活動法人山王学舎

遠隔（リモート）授業を取り入れた新しい子どもの居場所づくり

団体紹介

共働き世帯やひとり親世帯の増加など様々な社会背景がある中、子ども達の現状に目を向け、「居場所」「学び」「体験」の場を地域すべての子ども達と一緒に作り上げるため、美術造形の文化教育を核とした居場所づくりや学習支援等を実施しています。



【YouTube を使った動画教材】

令和2年度補助額

483,749円

補助事業概要

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響や緊急事態宣言の発出、休校等により、強いストレスを抱えている子ども達を対象に、WEB 会議システムを使い自宅から参加できるホームルーム等を行いました。子ども達の学びや居場所を止めないよう、遠隔授業の体制や遠隔の中でも子ども達とコミュニケーションをとっていくシステムをつくることができました。



【WEB 会議システムによる
ホームルームの様子】

特定非営利活動法人チャイルドライン「もしもしキモチ」

子どもの電話相談支援事業

団体紹介

子どもに寄り添い、子どもの声に耳を傾け、自立を促し、一人ひとりが自分らしく生きることができる社会を実現することを目的としています。



【電話相談の受け手ボランティア養成講座の様子】

令和2年度補助額

312,693円

補助事業概要

緊急事態宣言明けの子どもの自殺予防対策が今まで以上に必要なため、電話相談の広報カードを作成し、市内の小中高生・特別支援学校の児童生徒14万人へ配布しました。また、相談電話の受け手ボランティアの養成講座（全9回）を開催しました。カード配布後は、着信数が急増し、子どもたちの相談へ繋げることができました。



【広報カードの配布準備の様子】

NPO 法人トゥマンハティふくおか

福岡在住外国人「特別定額給付金」申請手続き等のサポート事業

団体紹介

インドネシアの子どもへの教育支援や福岡の国際化推進など、さまざまな活動を通して、地球市民ひとりひとりが「Teman Hati (心の友)」として安心して暮らせる真のユニバーサル社会の実現を支援していきます。



【申請手続きサポート会場の様子】

令和2年度補助額

286,687円

補助事業概要

福岡在住の外国人のために、日本語が分かる外国人と日本語指導日本人ボランティアがペアになり、「特別定額給付金申請書」作成等のサポートを実施しました。サポートした外国人は少なかったですが、福岡よかトピア国際交流財団、各地域の日本語ボランティア教室、移住者と連携するネットワーク（移住連）との連携体制を取ることができました。



【申請手続きサポート会場の様子】

ドネルモ

持続可能な地域活動に向けてのWEB会議ツール導入支援事業

団体紹介

超高齢社会の状況を見据えた上で、他者の存在や関わりを通じて1人ひとりの可能性がカタチになるような関係やしくみを生み出しながら、自分たちの暮らしを自分たちで作っていかこうとする文化を育むことを目的としています。



【WEB会議ツールの体験会の様子】

令和2年度補助額

327,815円

補助事業概要

WEB会議ツールに関する知識と技術の向上とそれを活用することは、地域活動や相互の交流、関係性の維持のため不可欠であり、①WEB会議ツールの体験会②WEB会議ツールを活用した会議や交流会の開催に向けた研修・相談会③WEB会議ツールを活用して実践を行いたい団体への支援を行いました。参加者がWEB会議ツールを体験することで、活用に向けての興味や意欲への向上へと移行している様子が伺えました。



【オンライン併用自治協定例会の様子】

特定非営利活動法人箱崎自由学舎 ESPERANZA

コロナ禍における「子育て・教育」電話相談事業

団体紹介

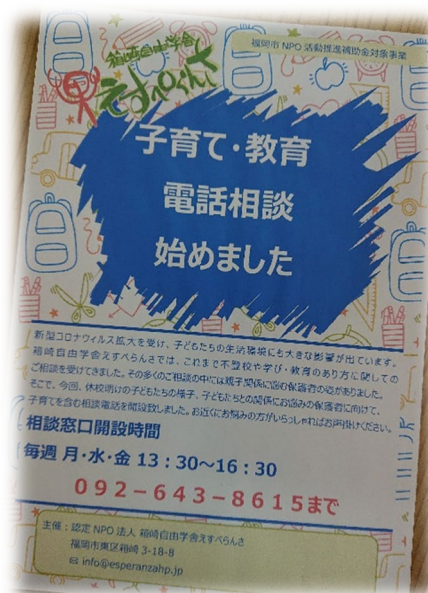
不登校等で学校内に居場所を感じられず、自信を失い、自己嫌悪に陥っている児童生徒に対し、教育環境を確保し、人間力・社会適応力を育むことを目的としています。

令和2年度補助額

500,000円

補助事業概要

学校の休校を機に、子育てや教育に関して不安や悩みを抱えている保護者や児童生徒が不安や愚痴を吐露できる環境が極めて少ない状況にあることが課題となっており、アクセスしやすい電話相談、メール相談窓口を開設しました。100名を越える方からの相談につながり、親子関係、学力不安、不登校などの相談を伺うことで、「安心しました」との声をいただきました。



【子育て・教育電話相談のチラシ】

特定非営利活動法人福岡ジェンダー研究所

これで安心、オンライン面接

団体紹介

ジェンダー問題専門のシンクタンクとして、相談事業、研修事業、調査研究・政策提言事業、人材養成事業を核に、あらゆる分野における男女共同参画の実現を目指して活動を展開しています。

令和2年度補助額

439,680円

補助事業概要

コロナ禍、就活者は活動期間が短くなるとともに、未体験のオンライン面接が多くなり、自己アピールや企業と自分とのマッチングなどに対し、不安が拡大しているため、シングルマザーや学生を対象にオンラインによる相談や面接練習を実施しました。利用者からは、「オンラインでの面接対策をしていただけで助かりました」「客観的かつ経験から基づいた意見を頂戴でき大変参考になりました」などの感想をいただきオンライン面接に対する不安の軽減に繋げることができました。



【オンライン面接の様子】

特定非営利活動法人フードバンク福岡

コロナウイルスに伴う生活困窮者支援事業

団体紹介

まだ食べられる食品が多く捨てられる現状において、企業や農家あるいは個人から食品を提供してもらい、必要としている福祉施設や個人に届けることで、食品ロスの削減と生活困窮者の支援を行うとともに、食べ物を大切にする意識の醸成を図り、食を通じて人と人との繋がりを、お互いを助け合い、分かち合う心を育み、誰もが尊厳をもって暮らすことができる社会を作ることを目的としています。



【企業からの食品提供の様子】

令和2年度補助額

497,446円

補助事業概要

コロナに伴う自宅待機のひとり親家庭、リストラに伴う生活困窮者等への食料支援を実施しました。個別での配送は32名、受け取り施設での個人での引き取りは39名、外国人留学生へ約2,000人に対し、支援することができました。



【提供された食品を仕分けする様子】

特定非営利活動法人 YNF

新型コロナ下における避難所運営者向けオンライン勉強会

団体紹介

災害における被災地に対して、一人一人に寄り添った支援活動に関する事業を行い、また超高齢化社会における共生社会づくりを通して、新たな防災の形を推進していくことで社会全体に寄与することを目的としています。

令和2年度補助額

488,794円

補助事業概要

新型コロナウイルス下での避難所運営のための備えは急務であり、医療や災害、法律などの専門家を招き、オンラインによる全6回の合同勉強会をオンライン会議ツール「ZOOM」を使い開催するとともに、録画による動画配信を実施しました。

受講者からは「分かっていたつもりでも実際に講座を受けてみると思いもよらない気づきがあった」との声をいただき、講座受講により避難所運営のあり方や課題について、再考して頂く機会になりました。

(新型コロナウイルス対策支援 特別募集第2回)

令和2年度福岡市 NPO 活動推進補助金

1 対象団体

定款に定める事務所の所在地が福岡市内にある特定非営利活動法人(NPO 法人)

2 対象事業

新型コロナウイルス感染拡大により、様々な困難に直面する人・団体を支援する事業のほか、※「新しい生活様式」へ対応しながら、地域課題や社会課題に取り組む事業

※「新しい生活様式」については、厚生労働省<「新しい生活様式」の実践例>をご参照ください。

3 補助金の額

1 団体あたり上限 50 万円

4 交付団体数

7 団体

NPO 法人アコア

DV 虐待当事者メディア・スタートアップ事業

団体紹介

DV 被害や摂食障害、トラウマ等の様々な生きづらさを抱えた女性達が安心できる居場所を作るとともに、自助ミーティングや心理相談、各種講座など、当事者の自立支援の第1歩に繋げる活動を行っています。



令和2年度補助額

385,187円



補助事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、以前よりも人と繋がれなくなったDV虐待当事者の方たちは、自分が抱えている問題や危険性に気付かず、解決に必要な支援や情報にたどり着けなくなっているため、様々な立場の当事者たちが自分のケースを自分で語る場をつくり、その様子を動画配信する事業を実施しました。

動画を見た当事者からの問い合わせが増加し、非当事者の方からも理解が深まったと反響がありました。



【動画配信の画面】

NPO 法人さわら子どもひろば

子ども食堂事業

団体紹介

子ども達及び地域の方々に対して、食事や学習支援、居場所を提供する事業を行い、子ども達の豊かで充実した生活と社会づくりに寄与することを目的としています。



【「あおぞら絵本の会」の様子】

令和2年度補助額

458,081円

補助事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、福岡市早良区の四箇田校区近郊の経済的に困窮する子どもや保護者に対して、購入したパンや米、フードバンク等から提供してもらった食材を配布する事業を行いました。食材配布だけでなく、「あおぞら絵本の会」や洋服のリサイクルコーナーなど感染予防をしながら行うことで参加者が増え、相談も受けるようになり、福祉につながる前の地域の身近なセーフティネットとして支援することができました。



【食品を配布する様子】

ドネルモ

オンラインを活用した外国人留学生の地域交流体験モデル事業

団体紹介

超高齢社会の状況を見据えた上で、他者の存在や関わりを通じて1人ひとりの可能性がカタチになるような関係やしくみを生み出しながら、自分たちの暮らしを自分たちで作っていかうとする文化を育むことを目的としています。

令和2年度補助額

481,038円

補助事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人留学生と日本人住民との地域交流等が、これまでのやり方では開催が困難な状況にあるため、日本に来たばかりの留学生を対象にオンラインを活用した地域交流体験モデル事業を実施しました。日本人参加者からは「外国人と触れ合う機会が少なく、ありがたかった」などの声を頂け、また、参加した留学生たちは、当初は緊張の面持ちが、回を重ねるごとに笑顔を見ることができるようなど、オンラインを通じてお互いに気軽に交流することができるプログラムを創れることが分かりました。



【オンライン交流会の広報用ホームページ】



【地域交流体験プログラムの様子】

認定 NPO 法人にこスマ九州

小児がん経験者のためのオンライン交流会

団体紹介

小児がん経験者とその家族などに対して、小児がん経験者の健康状態に対する悩みの解消や生活の質の向上のため、キャンプや様々なイベント及び啓発活動・就労支援等を行い、小児がん経験者の生活の質（QOL）の向上に寄与することを目的としています。

令和2年度補助額

500,000円

補助事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、感染リスクが高い子ども達に仲間と繋がれる場を提供するため、小児がんやAYA世代（15歳～39歳）のがん経験者を対象として開催している交流イベント「にこトーク」、「にこスマキャンプ」、「にこスマキャンプ、アフタートーク」をオンラインで開催しました。「久しぶりにスタッフや仲間の顔が見れて安心した」「画面越しでも新しく友達を作ることができてよかった」などの声をいただき、がんを経験した子ども達や大人になった経験者が気軽に相談したり、先輩の話聞ける機会をつくることができました。



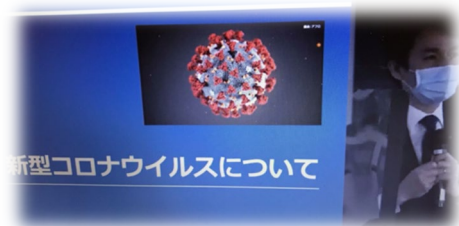
【オンライン交流会の様子】

特定非営利活動法人福岡食物アレルギーネットワーク

喘息児含むアレルギー児のための新型コロナ等感染症蔓延下での
生活対処法およびエピペン使い方の動画配信

団体紹介

食物アレルギー疾患に関わる医師、患者および保護者、保育園、幼稚園、学校関係者等が相互に助け合い、自治体や企業などの協力を得ながら、食物アレルギー問題の解決のために様々なネットワークを活用して協働、連携する事業活動を行い、食物アレルギーを持つ子どものしあわせを追求する活動をしています。



【動画の一部】

令和2年度補助額

382,300円

補助事業概要

新型コロナウイルス感染症により、喘息の子どもの合併症に不安を抱く保護者等に対して、小児科アレルギー専門医師が新型コロナウイルスを含む感染症の最新の対処法及び事前の準備を動画で解説するとともに、エピペンの使い方について、わかりやすく解説する動画の配信を行う事業を実施しました。
保護者や小学校教職員に適切な対応や万一の事故の備えの理解へ繋げることができました。



【動画の一部】

エピペンとは
医師の治療を受けるまでの間、アナフィラキシー症状の進行を一時的に緩和し、ショックを防ぐための補助治療剤

特定非営利活動法人フードバンク福岡

コロナの影響による生活困窮者への食品提供事業

団体紹介

まだ食べられる食品が多く捨てられている現状において、企業や農家あるいは個人から食品を提供してもらい、必要としている福祉施設や個人に届けることで、食品ロスの削減と生活困窮者の支援を行うとともに、食べ物を大切にする意識の醸成を図り、食を通じて人と人との繋がりを育み、誰もが尊厳をもって暮らすことができる社会を作ることが目的としています。



【提供された食品を保管する倉庫】

令和2年度補助額

500,000円

補助事業概要

新型コロナウイルスの影響による食品提供が必要な方の増加に伴い、食品の保管や配送体制の整備、食品提供のための受け取り体制づくりを行うことで、より多くの必要な方に食品を届けることができました。



【企業からの食品提供の様子】

特定非営利活動法人ホームレス支援福岡おにぎりの会

コロナ渦における生活困窮者支援事業

団体紹介

野宿生活を余儀なくされている人々に対し、その生活支援、自立支援及び社会的処遇改善に関する事業を行うことを以て、社会福祉の向上を図ることを目的としています。



【食事の配布の様子】

令和2年度補助額

500,000円

補助事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、路上生活を余儀なくされた方及び生活困窮者に対して、福岡市内約10カ所を巡回し、安定した食事の配布や社会復帰に向けた情報提供と相談、健康相談を行うことができました。マスメディアに取り上げてもらい、活動を広く周知でき、ボランティア参加者の増加や、若い世代の生活困窮相談件数も増えました。



【食事の配布の様子】

(新型コロナウイルス対策支援 特別募集第3回)

令和2年度福岡市 NPO 活動推進補助金

1 対象団体

定款に定める事務所の所在地が福岡市内にある特定非営利活動法人(NPO 法人)

2 対象事業

新型コロナウイルスの感染拡大により、様々な困難に直面する人・団体を支援する、緊急性が高い事業

3 補助金の額

1 団体あたり上限30万円

4 交付団体数

1 団体

特定非営利活動法人 YNF

新型コロナウイルス自宅療養者向け買い物代行支援

団体紹介

災害における被災者に対して、一人一人に寄り添った支援活動に関する事業を行い、また超高齢化社会における共生社会づくりを通して、新たな防災の形を推進していくことで社会全体に寄与することを目的としています。

令和2年度補助額

223,922円

補助事業概要

福岡市西区在住の新型コロナウイルス感染による自宅療養者、および感染者との濃厚接触による自宅待機者を対象にした買い物代行支援事業を実施しました。「事情によりマスクをつけることが難しく、批判が怖いため外出できない。こういったサービスがあるのはとてもいいと思う」というお声をいただきました。

あすみん夢ファンドは、ふくおか応援寄付

■寄付の決済方法が選べます！

郵便局、銀行の他、クレジットカード[※]、コンビニエンスストア、AmazonPay、スマホキャリア決済、ペイジー、ペイパル、ネットバイキング支払い、メルペイ、楽天ペイ、Apple Pay の 12 の決済方法から選択できます。手数料はいずれも不要です。

■返礼品を進呈します！（市外居住の寄付者（個人））

1万円以上の寄付をいただいた方に、寄付額に応じた返礼品を進呈します。ふくおか応援寄付返礼品につきましては、下記QRコードを読み取りください。



■税制上の優遇措置が適用されます！

個人の方は、所得税と個人住民税で寄付金税額控除を受けることができます。（詳細は、お住まいの地区を管轄する税務署、市区町村役場にお問い合わせください。）

法人の方は、全額を損金算入することができます。

■申告に関する手続きが簡単！

特定の条件を満たす個人の方は、ワンストップ特例制度を利用する旨の申請書を提出することで、確定申告をしなくても寄付金税額控除を受けることができます。

福岡市のご当地 WAON カードを使うだけで 寄付できます！

イオン九州株式会社より、福岡市のご当地 WAON カード「FUKUOKA OMOIYARI KIDS WAON」のご利用額の 0.1% を寄付していただいています。
全国の WAON 加盟店で利用でき、どこで利用してもあすみん夢ファンドに寄付されます。



FUKUOKA OMOIYARI KIDS WAON

自動販売機の設置やジュース等を購入すること で寄付できます！

高原ミネラル(株)、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)、(株)ジャパンビバレッジ九州、自動販売機設置者の皆様のご協力により、あすみん夢ファンド自動販売機を設置し、売上の一部を寄付していただいています。

【自動販売機設置者の皆様】

- ◇(株)愛しとーと
- ◇(株)オオツカ・ガスエンジニアリング
- ◇(株)環境開発
- ◇福岡環境整備(株)
- ◇(株)やまやコミュニケーションズ
- ◇福岡市教職員組合
- ◇福岡中央児童会館等建替え整備事業(株)
- ◇「あすみん」マネジメントグループ
(特定非営利活動法人九州コミュニティ研究所 / 株式会社ミカサ)

不要になった入れ歯やアクセサリーで寄付で きます！

NPO 法人日本入れ歯リサイクル協会のご協力により、福岡市役所本庁舎・各区役所など市内 13 か所に回収ボックスを設置しています。

回収した不要入れ歯やアクセサリーに含まれる貴金属をリサイクルすることによって得られる収益の 40 パーセントが、あすみん夢ファンドに寄付されます。

【回収ボックス設置場所】

- ◇福岡市役所・各区役所
- ◇入部出張所 1 階窓口前
- ◇西部出張所 3 番窓口
- ◇福岡市 NPO・ボランティア交流センター あすみん
- ◇福岡市市民福祉プラザ 1 階案内横
- ◇福岡市葬祭場 1 階受付



福岡市 NPO 活動支援基金(あすみん夢ファンド)
令和 2 年度 活動報告書
令和 3 年 12 月発行

福岡市市民局コミュニティ推進部市民公益活動推進課
〒810-8620 福岡市中央区天神 1 丁目 8 番 1 号
電話：092-711-4283
FAX：092-733-5768
Email:koeki.CAB@city.fukuoka.lg.jp